

図書館等複合施設整備 事業提案説明会（質問回答の公表）

開催日時①	令和5年10月13日（金）午後7時00分～午後8時25分頃
会場	多ノ郷公民館 多目的室
市民の方の参加人数	22名

番号	質問内容	質問者様	回答内容	回答者
1	PCメーカー室の具体的なイメージや図書館の中にこうした施設があるということに対してどのような意義がありますか？	A様	PCルームには3Dプリンタを導入し、子どもたちが工作できるような制作室をイメージしています。 調べ物をしながら作業ができることや機能を融合することにより色んな活動を展開できることが図書館内にPCルームを設ける意義であると考えております。	事業者
2	3Dプリンタ等の機材に対して、専門的な知識があり、機材のメンテナンスができる人材が必要かと思いますが、どのように考えていますか。	A様	運営面については今後協議していきます。当施設に関しては複合施設であり、多様な機能があります。効率良く有効に施設が機能するよう体制を検討していきます。	発注者
3	多目的ホールやつどいの広場で週2回の体操(高齢者サロン活動)は可能でしょうか。	B様	定期的な活動として多目的ホールで運動をした後に図書館で本を読んだり、エンガワ空間で寛いだりといったことをイメージしながら設計をしています。	事業者
			利用頻度や具体的な使い方については今後話し合いさせていただけたらと思います。	発注者
4	須崎市には美術館がありません。この複合施設に入ることになるのでしょうか。	B様	美術館を整備する計画はございませんが、文化的資料の展示等を想定した郷土展示スペースを設ける計画です。但し希少性の高いものについては置かない方針で考えております。	発注者
5	津波の避難経路の保育所付近は道が狭く、古い民家も多いですが、避難経路の道路を広げることは須崎市は考えていますか。	C様	道路拡張のための周辺の用地取得等は予定しておりません。避難経路は城山(糺鴨神社裏山)とする計画です。市民の方の声も聞きながら、今後調整していきたいと考えております。	発注者
6	津波の避難場所について、図書館利用者だけでなく、保育園の園児や小学生も児童も避難するため、城山(糺鴨神社裏山)のみを避難スペースとするのは不安です。安全に避難できる対策を検討いただきたいです。	D様	「須崎市立地適正化計画」の防災計画にも定めていますが、市内には70箇所程度の避難場所があり、災害時には避難者が分散できるように計画しております。	発注者
			城山に寄り添うというコンセプトのもと、極力建物を城山に近づけて配置しており、すぐ裏山に逃げられるような出入口を多数用意しています。	事業者

7	現在、須崎市の「まちかどギャラリー」にて科学教室を開催していますが、子どもたちの出入りがほとんど無い施設なので参加人数も集まらないのが現状です。本施設にはそうしたスペースはありますか。	D様	PCメーカールーム内で今後検討していきます。 パソコンや図書を用いた学習と制作活動等の作業の両方ができる空間だと位置図けております。運営面については今後協議していきます。	事業者
8	市内の児童を対象に自然探検クラブ活動をしています。具体的には、昆虫採集をし、採集した昆虫で標本を作ったりしています。標本の展示スペースはありますか。	D様	そうした活動に際して「エンガワスペース」や「郷土展示スペース」を積極的に活用していただきたいです。	事業者
9	高知市のオーテピア（図書館等複合施設）は2階に図書館を配置し、津波にも配慮しています。また東日本大震災の津波時にも図書館が避難場所となった事例も多数あったと聞いております。城山ではなく図書館自体を避難場所とするべきではないでしょうか。城山が土砂崩れ等で崩落する可能性もゼロでは無いと思います。	E様	オーテピアについては、今回の須崎市での計画にないような条件が重なったという経緯があります。県立図書館特有の配送作業スペース、目の不自由な方などのための点字図書館、市街地であるためピロティ駐車場などどうしても1階に入らないといけない機能で1階部分が埋まったことによって、おのずと2階から上に図書館を配置とすることとなりました。	事業者
10	パソコンを利用して県立図書館と本の貸出のやり取りができるシステムや学校現場の図書室とパソコンで連携し、市の図書館の本が貸出できるような展開もお願いしたいです。	E様	県立図書館や学校現場との連携はすごく重要であると考えており、運営面について協議していくなかで今後積極的に推奨したいと考えております。	事業者
11	1階の開架書架は海拔何mでしょうか。	E様	海拔2.8m位です。	事業者
12	高潮・津波で本は浸かるかと思えます。図書館の地盤や床等の高さ設定について設計で何とかありませんか。	E様	様々な制約もあり設計での対応は難しいかもしれません。	事業者
13	商工会議所跡の前の道路はどうなりますか。	F様	道路も一緒に図書館の敷地に取り込む予定です。集いのひろばとなる計画です。	事業者
14	図書館計画地の南西の道は狭く見通しも悪い。道が広がったりしませんか。	F様	道幅は広げない予定です。 建物を北東に配置する計画でその分見通しは良くなります。	事業者
15	開架書架、閉架書架の割合を教えてください。	G様	開架6万冊、閉架3万冊(開架67%、閉架33%)を計画しております。	発注者

16	会議室の仕切りはどのような計画なのでしょう。	G様	会議室については2部屋ありますが、一体利用も想定しており、間仕切をオープンにすることによって1部屋の会議室として使うこともできます。 一方で外部や他室からの視線を遮るためのカーテンや引き戸も設置する配慮もしていきます。	事業者
17	会議室・多目的ホールの使用ルールや職員の数や貸出図書をどうするのか等の運営面の周知はいつ頃になりますか。	G様	設計担当と運営の専門家と意見交換しながらどのような運営にするかを決めていきます。時期については協議が調った段階で市民の皆様にも周知しますが、具体的な時期は現段階では決まっています。	発注者
18	機材や多目的ホールの使い方について不確定要素もあると思いますが、今後設計を進めるにあたってより良い施設になるよう変更等も柔軟に対応していただきたいです。	G様	当施設は複合施設であり、市民の皆さまにとってより良い施設となるよう設計段階でも柔軟に対応していく考えです。	事業者
19	本施設に対して、正直図書館として静かに過ごせるのかといった心配があります。具体的に現段階での各居室の仕切りや「エンガワ空間」は外部との出入りがどの程度想定されるのか、「集いのひろば」の芝や植栽の管理はどうするかといった面で落ち着いて本を読んだり、読み聞かせをしたりできる空間なのかといった事が心配です。設計担当の方は、その辺りはどのようにお考えでしょうか。	H様	施設全体で吸音素材の壁材や天井材等を用いて音が反射しない提案をしています。 また事務室側に図書室といった静寂エリア、広場に近い側が色んな活動ができるエリアとなっており、両者が緩やかに分かれていく工夫もしています。また閉架書架の中にも静かに本を読めるスペースを設ける予定であり、何席確保するかは今後詳細に設計しながら進めていきます。 「集いのひろば」については、誰もがゆっくりできる空間を想定していますが、セキュリティの面もあるので開放時間帯は今後運営面について協議していきます。	事業者
20	図書館の一部2階の部分はどのようなスペースなのかご教示いただきたいです。	I様	バックヤード、電気室・機械室を設ける予定です。バリアフリーの観点から利用エリアは基本的に1階となります。	事業者

開催日時②	令和5年10月14日（土） 午前10時00分～午前10時45分頃
会場	交流ひろばすさき（須崎公民館） 大会議室
市民の方の参加人数	16名

番号	質問内容	質問者様	回答内容	回答者
21	私たち市民は、実際の利用開始はいつからになりますか。	J様	令和8年の中頃から利用開始予定となるかと思えます。	発注者
22	「みんなのエンガワ」を障がいをもった子どもと一緒に遊べるスペースにしたいと思います。	K様	バリアフリー（段差を無くす・使い勝手を良くする等）に配慮しながら設計を進めていきます。 カームダウンスペース（音や光、ニオイなどの五感の刺激をやわらげ、ストレスの緩和を図るスペース）も3箇所確保しており、目に見えない障がいをお持ちの方にも配慮しております。	事業者
23	「城山」の防災機能を高めた上での一体的な整備をしてもらいたいです。	K様	東日本大震災クラスの津波が発生した場合は浸水するリスクの高い地域ではありますが、L1クラスの津波(0.3mの浸水)であれば、施設を十分守れるような床の高さを要求水準として定めています。城山への防災機能も関係行政とも確認しながら整備を進めていきたいと思えます。	発注者
24	市内の公共交通の整備も含めて、図書館へアクセスしやすいようにしてもらいたいです。	K様	旧市街地の活性化を図るために国土交通省の許可を受け、令和2年1月策定した「須崎市立地適正化計画」に基づき、総合的に居住や医療、社会福祉、産業等の都市機能を結びつけながら地域へのつながりを構築していく計画のもとで、公共交通ネットワークと連携しながらコンパクトな街づくりを進めていくということで現在整備を進めております。	発注者

開催日時③	令和5年10月14日（土） 午後1時00分～午後2時15分頃
会場	交流ひろばすさき（須崎公民館） 大会議室
市民の方の参加人数	12名

番号	質問内容	質問者様	回答内容	回答者
25	カフェスペースは、実際カフェ店舗が入るような計画でしょうか。	L様	営利を目的としない団体による食事の提供を検討しています。 例えば、障がい者の就労支援に当たるような運用方法をイメージしております。一方で自動販売機の設置も考えています。詳細計画につきましては今後協議してまいります。	発注者
26	寺尾児童公園の遊具は無くなるのでしょうか。広場には芝を植えて親子で遊べるように整備をするのでしょうか。	M様	公園の機能維持は大前提ですが、公園内の遊具等の詳細については今後協議してまいります。一体的に使えるような提案はしながら設計を進めていきたいと思っております。	事業者
27	花壇を設置し季節を感じる植栽を植えたり、既存の桜の移植についてはどのようにお考えでしょうか。	M様	桜の移植については可否も含めて慎重に話を進めている段階です。季節を感じる植栽については、是非そうしたことも考えながら設計を進めていきたいと考えております。	事業者
28	読み聞かせについて静かに読み聞かせできるような配慮をしてもらいたいです。	O様	読み聞かせについて柔軟な対応ができるような設えを計画しています。基本的には読み聞かせ室を活用していただき、大規模な読み聞かせイベントとなれば多目的ホールや、会議室の活用を想定しています。	事業者
29	一時預かりについて外部から雇用をするのか。どのような体制で運営するのかが教示いただきたいです。	O様	現段階では、須崎市総合保健福祉センターにあります、子育て支援センター「はっぴいぼけっと」が複合施設の一時預り場所に移設するといったかたちを検討しています。	発注者
30	こういった説明の場がありますよということを、市民の方にどう案内したのでしょうか。	P様	今回の説明会に関しては、市の広報・市長の定例記者会見にてご案内させていただいております。	発注者
31	今回の説明会で出た意見、要望に対する対応等をどのようにしていくのか、お伝えいただける場が計画されていればご教示いただきたいです。	P様	今後も継続して、区切りごとに説明会を開催させていただく予定としております。また皆様からいただいた貴重なご意見につきましては発注者と事業者の間で月次の定例会等で、ご意見を反映できるように協議をし基本設計を進めていきたいと思っております。	発注者

32	図書館の貴重資料については、津波・浸水対策のため施設の2階での保管という理解でよろしいでしょうか。	Q様	一部2階に閉架書庫を設けて、そこに貴重資料も保管可能となるよう配慮した設計をしています。	事業者
33	須崎市内には文化会館があるのに、なぜ図書館の中に多目的ホールが必要なのか教えていただきたいです。	R様	「須崎市立地適正化計画」に基づき、旧市街地活性化のために、多様な方に当施設にお越しいただくべく施設計画を進めております。そのためには図書館以外にも多目的ホールの併設等複合的な整備が必要と考えております。	発注者
34	これだけの施設であり、維持管理は相当の費用が発生すると思いますが、市としてはこれだけ大きな施設が必要なのかというのを今こうして市民が意見しても遅いのでしょうか。今回の説明会の際は、もう既に決まった計画の中で運営や施設利用方法等の詳細について意見交換をする場であるという理解でよろしいのでしょうか。	R様	当施設建設に関しては既に事業者と契約をしておりますので、ここから整備面や今後の管理面について調整していきたいと考えておりますのでご理解のほどお願い申し上げます。	発注者
35	当施設の維持管理費はどれぐらいかかるのでしょうか。	R様	今後の協議にて積算も行っていきたいと考えておりますので、現段階では具体的な数字はお答えすることはできません。	発注者
36	人口減少も踏まえて、将来的に子どもたちに維持管理等大きな負担のかからないような計画をしてもらいたいです。また定期的に今回のような説明会の場を設けていただきたいです。	R様	「須崎市立地適正化計画」は、人の流れを呼び込んでまちを活性化していこうという取組のため、そういった部分が充実できるかたちで進めてまいりたいと思います。説明の場についても機会がある毎に設け、ご意見いただきたいと思います。	発注者
37	多目的ホールの規模はどの程度なのかご教示いただきたいです。	S様	多目的ホールには固定の席は設けません。椅子を並べて300人ほど座れるスペースを想定しております。	事業者
38	多目的ホールにはピアノを1台入れて、音楽と読み聞かせが融合した使い方も検討してもらいたいです。	S様	今後の運営面の協議の中でアイデアの1つにさせていただきますと思います。	事業者
39	周囲には「図書館は使わない」という声もある。30億円の整備費が活きるかたちの運営をお願いしたい。	S様	運営面につきましても今後協議をしていきますので、そうしたご意見も受け取りながら頑張らせていただきたいと思います。	発注者

40	建物の耐震についてはどのようにお考えでしょうか。	T様	耐震基準については、建築基準法で定められており震度6で倒壊しない建物が大原則となっております。それを超えるものについては、建築学会で規定はできないものとなっております。したがって今は震度6では倒壊しないという構造計画となっております。	事業者
41	要求水準に規定されているL1クラス(0.3m程度)の津波発生後の復旧についてはどのように考えているのかご教示いただきたいです。	T様	0.3m程度であれば床下の範疇であり、床下の水を抜くという手間はかかるものの復旧は可能です。電気室・機械室は2階に配置する配慮はしており、L1クラスの場合、電気・機械への影響はございません。	事業者
42	地震やその他災害が発生した場合についてはどのようにお考えでしょうか。	T様	まず火災に対しては、1階をメイン利用とした設えであり安全な設計でございます。地震後の津波に対しては、城山への避難が容易になるよう避難経路を複数箇所確保します。	事業者
43	開架書架の棚には何か工夫をされますか。	T様	棚については傾斜棚というものを採用しており、内側に傾いているため地震発生時でも本が落ちづらいものとなっております。	事業者
44	契約前に説明会を設けられなかった理由は何かあったのでしょうか。	T様	契約については、まず議会の議決を経る必要があります。議会の議決を経たので、この度説明の機会を設けさせていただきました。事前になると優先交渉権者との交渉中との事で内容が確定していない状態で話をする事となりますので、契約後のご説明となったという経緯でございます。ご理解願います。	発注者
45	今回の説明会で出た意見についてどのような方法で市民の方に周知されるのかご教示いただきたいです。	T様	これから運営方法を検討していく中で市民の皆さまの声を聴くことも検討する必要がありますかと思っておりますので、今後説明会を行っていく中で、こうした意見が出たというお示しが出来ればと思います。	発注者
46	建物の耐用年数はどれぐらいでしょうか。	T様	一般論で申し上げますと耐用年数は60年ですが、しっかりとメンテナンスを行うとそれ以上となることもございます。また設備・機械は20年、防水10年超が更新の目安となります。運営面については協議が必要ですが、少しでも長持ちする材料も使い、維持管理費に少しでもメリットがあるような選択をしていければと考えております。	事業者

47	本施設の維持管理費や光熱費を抑える工夫は何かされる予定でしょうか。	T様	ZEB（「Net Zero Energy Building」の略で「ゼブ」と呼びます。快適な室内環境を実現しながら、建物で消費する年間の一次エネルギーの収支をゼロにすることを目指した建物のことです。）を見据えた計画をしております。	事業者
48	電気代のランニングコストはどれぐらいかかるのでしょうか。	U様	現段階では、はっきりとした数値はお答えできませんが、一般的な建物と比較すると半分程度の指標（ZEBready）程度のコストで考えております。計算の仕方は定められておりますので、それに基づきながら消費エネルギーの少ない建築にしようと考えております。どれぐらい電気代がかかりそうなのかを計算しながら設計も進めていくので、設計の中で具体的な数値を発表できるタイミングもあるかと思えます。	事業者
49	「エンガワ」空間と外部の間にはガラスを取り付けるのでしょうか。その場合、省エネ性能に問題はないでしょうか。	U様	ガラスを取り付けます。最近のガラスは性能も上がっておりますので、そうした物を使いながら、ガラス張りにすることによる「見る・見られる」ということでエンガワを利用する方たちの活動が活性化していくようにと考えて設計しております。	事業者